

第3回西脇市教育振興基本計画策定会議 会議録

開催日時	令和5年3月8日(水) 午後3時～4時40分
開催場所	西脇市役所 大会議室
出席委員の名前又は人数	10人
欠席委員の名前又は人数	1人
出席職員の職・名前又は人数	11人
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	1人
議題又は協議事項	(1) 市民アンケート調査の報告について (2) 第3期西脇市教育振興基本計画の成果と課題について (3) 第4次教育振興基本計画の答申について

会議の記録(概要)

発言者	
事務局	<p>○開会</p> <p>○教育長あいさつ 委員の皆様には日頃から多岐にわたり教育行政の推進にご尽力いただくと同時に、本計画策定作業にご尽力賜っていることを心から感謝申し上げます。前回会議では、計画策定にあたりその内容・方法・方向性等について基礎資料とするための市民アンケート調査の速報をお知らせした。今期計画の中間報告について、委員の皆様方から貴重なご意見を賜った。本日は3点ある。市民アンケート調査結果の最終的なご報告、そして今期計画の途中成果と課題についてご協議、ご意見をいただくとともに、国における第4次教育振興基本計画の答申についてもご報告することとなっている。これらを元に国の方向性も視野に入れ、本市の基本計画にどのように反映させていくか、どう策定していくか、検討を賜りたい。</p> <p>○議事 (1) 市民アンケート調査の報告について ・資料1に基づき説明</p>
会長	<p>それほど他市との違いはない。何かご質問、ご意見はあるか。また最後に皆様からご意見をいただく機会を設けるので、何かあればその</p>

事務局	<p>時にお願いしたい。</p> <p>○議事 (2) 第3期西脇市教育振興基本計画の成果と課題について ・資料2に基づき説明</p>
会長	<p>これについて、いかがか。たくさんあるので1つ1つ見ていくときりがない。これもまた後ほど気になる点があればお聞きしたい。</p>
事務局	<p>○議事 (3) 第4次教育振興基本計画の答申について ・資料3・資料4に基づき説明</p>
会長	<p>4つの情報提供があった。1つはめざす姿、もう1つは国の参酌すべき項目。もう1つは現状についてだが、その1つがアンケートである。もう1つ現状を捉えたものについては、3期の取組と成果・課題について。この4つを参考にして、次回から第4期計画を策定する。次回事務局より提案があると思う。本日説明があった4つの項目についてのご質問、あるいは新しい計画に対する期待等について簡単に発表いただき、次回第4回に繋ぐ我々の意見としたい。順番にお願いする。</p>
委員	<p>今回はアンケート調査の最終集計とのことで、前回同様に高齢者の回答が多かったことが少し気がりではある。これからの国際化に向けて外国語に力を入れていただきたい。それと、就学前教育の充実を特に重点的にお願いしたい。</p>
委員	<p>資料3にある部活動の地域連携について、地域との連携をどのようにしていけるのか非常に興味がある。部活をして次の日の準備をして帰宅するのは夜の9時頃で大変だった経験がある。</p>
委員	<p>今、自分の子どもがちょうど就職を考える時期である。昔と違い、今は何を作る会社なら生き残るのだろうかと心配しながら一緒に考えたりしている。このような大きな計画を立てる時には、一つは変わらないもの、地域の皆様が思いやりの心を持ってほしいとおっしゃっているが、それは変わらないものである。気を付けなければならないのは、変わるものである。これまでもそうだったが、あまりにも急激に変わりすぎて、そこを捉え損ねると子ども達にとって幸せは訪れないかもしれないと心配しながら考える。教育長を中心に組み立てられたことは、今国が言っていることと合致している。そのあたりは、十分この流れを考えながら組み立てただけだと思っている。今後指標を考える時に、例えば英語教育の研修会を何回したかにするのか、中3の段階で英検3級を取得した子が何人いたかにするのか、そのあたりの努力が必要だと思う。今までここにいる我々が経験したことのないような流れになっていくと思うので、そこを引き続き考えな</p>

委員	<p>がら計画を策定して実行していきたいと考えている。</p> <p>今日説明をお聞きして、改めて思うところがあった。アンケート調査で、思いやり、学力向上、あるいは家庭・地域・学校の連携、あいさつ・ルール等の規範意識等、このあたりのニーズがあったと思う。結局、対話力やコミュニケーション力を高めていくことを盛り込んでいく必要があると思う。菊池先生も教育スーパーアンバサダーとして10年の節目なので、その取組がぶつ切りにならず、さらに発展させることがこのアンケート調査のニーズに合うのではないか。さらに、不易と流行をしっかりと見極めて、不易の部分もぶれないように新たな時代に向かっていくことを、と思った。</p>
委員	<p>基本計画1の乳幼児期における教育保育の向上について、お話したい。この表の内容から5年間でたくさんの研修を重ねてこられたことは、大変望ましいことだと思う。しばざくら幼稚園が閉園し、実践経験が減ることを個人的に不安に感じている。先生方は経験を重ねて体得していくが、子ども達は日々成長していく。幼児教育センターの役割は今後ますます大きくなっていくと思うが果たしてこれで十分なのか。体制のあり方の見直しや向上委員会の充実を今後もお願いしたい。</p>
委員	<p>親子で十分に話したり触れあったりする時間を取る必要性が高くなっていると、アンケートに出ている。私もそう思うが、実際の子育て世代は本当に忙しい。感染症のこともあり、子ども達が鼻水を垂らしていたらファミリーサポートに預けられないとか、おじいちゃんおばあちゃん世代にも頼れず、周りに助けを求めにくい状況がここ何年も続いている。それに加えてここ最近の物価高、光熱費の上昇でこれまで以上に生活費がかかり、実質働かないといけない。子育て世代の厳しい現状を肌で感じている。そんな中でも、地域の人が子ども達の成長について気にかけてくれていることはすごく有難いし、心強く思う。色々な世代が気軽に集える場が今後もっと増えることを西脇市に期待している。</p>
委員	<p>資料3を見て、私なりに一言申し上げたい。次期計画のコンセプトで「人への投資」とある。これはどこまで西脇市として考えているのか。今後どんどん少子化が進んでいく。子ども達だけでなく、働き手も少なくなっていく。その働き手を確保しないと、原動力になるものが何もないと思う。グローバル化の波にしっかりと乗っていく必要がある。外国人労働者の労働力を活かしていくことも、人への投資かと思う。外国人労働者の子ども達が、こども園に毎年のように増えてきている。西脇市だけでなく全国でいえると思うが、そこに投資をしていくことが力になるのではないか。そういう人達がコミュニティを形成することによって、そこでまた力が生まれてくる。その中にコミュニティスクールがある。こども園が今後生き残っていくためには、そこしか場所がないのではないか。子どもだけ預かってはダメとい</p>

委員	<p>う時代にきている。それから、高齢者施設との合体も考えていかないといけないかもしれないが、まずはそのようなものが地域の核としての地域にもあり、それがしっかり育っていくことが必要な投資ではないか。</p> <p>中2、小6、小4の子どもがいて、進路や仕事についての話を家庭内でしていた。トライやるウィークに、もう少し地場産業の企業に入ってもらえたらと思う。西脇市で卓球の大会が数週間前にあったと思うが、マラソンが最近ではコロナの影響もあり少なくなっている。先ほどのトライやるウィークもそうだが、釣り等も含めたスポーツについても、企業へ協力を打診してみてもどうかと思う。</p>
副会長	<p>皆様方とほとんど同様の意見である。先ほどの不易と流行の観点からいくと、アンケート調査は非常にわかりやすく良かったと思う。不易の部分で、こういう制度、子ども像であってほしいということが高い得点で入っている。そういうことが今後の西脇市の教育において大事な観点だと思う。また、流行については文科省の新しい項目もよく理解できる。もう一点は、西脇市の教育委員会として皆様の意思統一を確認したい。資料2で詳しく説明いただいたが、課題と今後の方向性の書きぶりを間違えないようにしていただきたいというのが個人的な希望である。最後のほうに小中連携教育および小中一貫教育の現状とあるが、ここに書いてあることはそのとおりだと思う。ここでこういう書きぶりをしているにも関わらず、3/4ページの小規模校特任校制度の減少に書いてある小規模校特任校の趣旨は、こんなものではなかったと思う。複式学級の解消という課題を解決するために特色ある教育の充実を推進していく、というものがあつたのではないか。そのようなことを踏まえて複式学級を解消していくということで、その計画があつたのではないか。内容をできるだけ統一してほしい。またご確認願いたい。</p>
会長	<p>教育委員会でここ3～4年新しい取組をしてきた。やりはじめた当初は違和感があつたかもしれないが、振り返るとやっていて良かったということがほとんどだと思う。今後は流行に対して思い切って手を打っていく姿勢が必要ではないか。副会長がおっしゃったように、アンケート調査を見ても変わった子どもを育ててくれということではない。そのようなことをきちんと押さえた上で、新しいことに取り組むことが必要だと思う。昔の西脇市は子どもや若者も多く、産業も活発だった。そこから考えると世の中が変わっているが、今後はますます変わっていく。世の中の変化は仕方がないが、そこに積極的に関わっていく計画にしたい。もう一点は、成果と課題を振り返る時に、今回資料2でPDCAを回していただいた。実施内容と評価は、こういうことをやりましたというアウトプット評価である。これによって子ども達のこういったところが伸びたというアウトカムに、もう少し寄りような指標がほしい。文科省から出ている参酌すべき運用方針をそのまま西脇市に取り入れるのではなく、指標作りの一つの目安として対</p>

事務局	<p>応していきたい。本日は新しい計画を策定するにあたっての色々な情報をいただいた。次回からそれらを踏まえて、どういった計画にするか検討していく必要がある。それでは、一通り議事が終了したので事務局にお返しする。</p> <p>○その他</p> <p>第4回策定会議については、7月頃の開催を予定している。日程調整の上、皆様にご連絡させていただく。</p> <p>○閉会</p>
-----	--